# 浜田港 福井地区 臨港道路整備事業

新規事業採択時評価

平成24年1月

国土交通省 港湾局

# 1. 事業の概要

# 【事業の目的】

浜田港周辺で整備が進められている山陰自動車道等の道路ネットワークと 連携し、更なる増加が見込まれる浜田港取扱貨物の安全かつ効率的な輸送 を図るため、また、大規模地震時にも、経済活動の回復に合わせて生じる物 資輸送需要への円滑な対応を図るため、浜田港福井地区において、臨港道 路の整備を行う。

## 【対象事業】

•整備施設: 臨港道路

■事業期間:平成24年度~平成29年度

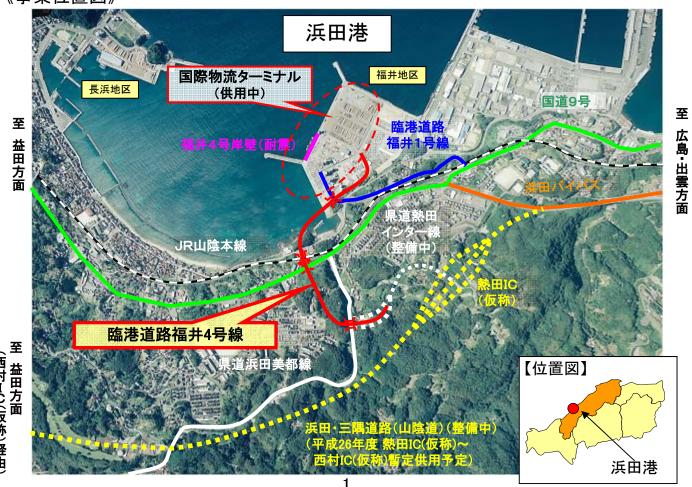
-事業費:39億円(うち、港湾整備事業費39億円(国:27億円、地方:12億円))

※ 国費負担割合は5.5/10に平成24年度の開発指定事業に係る 引き上げ率(島根県の場合1.25)を乗じて算出

## 《事業スケジュール》

| 事業区分 | 地区名  | 施設名           | H 24 | H 25 | H26 | H 27 | H 28 | H 29 |
|------|------|---------------|------|------|-----|------|------|------|
| 直轄事業 |      | 臨港道路<br>福井4号線 |      |      |     |      |      |      |
|      | 福井地区 | 1,500m        |      |      |     |      |      |      |
|      |      | 3.25m×2車線     |      |      |     |      |      |      |

## 《事業位置図》



(西村-0(仮称)経由)

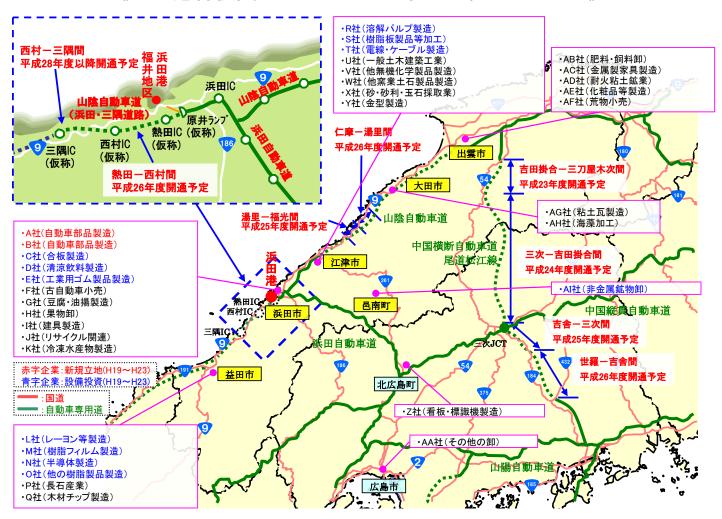
# 2. 浜田港の現状

# 【①浜田港背後圏の立地企業と道路ネットワークの進展】

浜田港の利用背後圏は、周辺の道路ネットワークの整備も相まって、島根県のほぼ全域と広島県に広がっており、国内で唯一溶解パルプを製造している製紙系企業や、木材加工、繊維、化成品等の製造業、及び中古車等の取扱商社等様々な企業が立地。これらの企業は、国道9号の他、山陰自動車道、浜田自動車道等の道路ネットワークを活用して、浜田港を利用している。

日本海の対岸諸国の経済発展や、道路ネットワークの拡張等を背景に、新規立地や設備投資が進められている。

# 《浜田港背後圏における立地企業と道路ネットワーク》



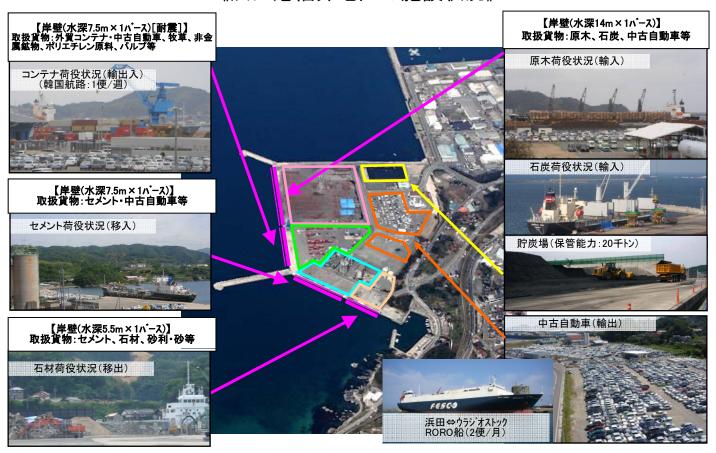
# 【②浜田港の利用状況】

浜田港全体の取扱貨物の約8割を取り扱っている福井地区は、世界的経済 危機の影響を受けたものの、中国やロシア等、日本海の対岸諸国の経済発展 や、立地企業の新たな設備投資等により、輸入貨物を中心に、取扱量が回復 している。

# 《浜田港福井地区における取扱貨物量》 (全体量)



《浜田港福井地区の施設状況》

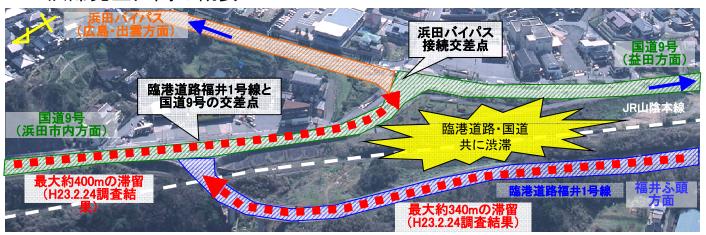


## 3. 浜田港における課題

# 【①臨港道路と幹線道路接続部周辺における慢性的な渋滞の発生】

既存の臨港道路福井1号線は、国道9号の渋滞(最大滞留長約400m)の影響を受け、同臨港道路も最大340mの滞留が発生。更なる増加が見込まれる港湾貨物に鑑みると、安全かつ効率的な輸送ルートの確保が喫緊の課題である。

## ■ 渋滞発生区間の概要





# 【②大規模震災時の輸送路の確保】

- ・浜田港福井4号岸壁は、島根県西部地域における唯一の耐震強化岸壁であり、浜田港は、県の地域防災計画において防災拠点に位置づけられている。
- ・既設の臨港道路福井1号線は、現行の耐震基準を満足しておらず、大規模地震発生の際には、福井地区へのアクセスが制限されることとなり、福井地区の物流機能が長期にわたり制約される懸念があることから、大規模震災時の輸送路の確保が課題。

# 4. 対策案の検討(計画段階評価)

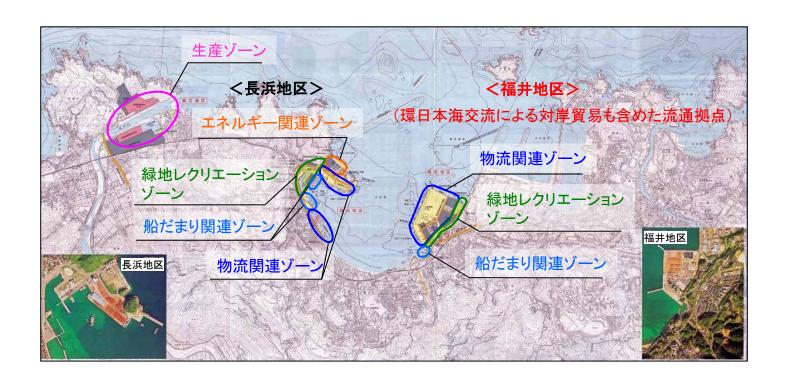
| ,        | 評価項目  |   | 案1 臨港道路福井4号線整備   | 案2 臨港道路福井1号線の改良  |  |  |
|----------|---|---|--|--|--|--|
| 概要       |   | 国際物流ターミナル<br>(供用中)<br>福井4号単型(耐力)<br>福井1号線<br>福井1号線<br>福井1号線<br>原道熱田<br>インター線<br>(整備中) |  | (4車化、交差点位置の変更、耐震改良)    国際物流ターミナル (供用中) (集井地区 (本庫化+交差点位置の変更) (共庫化+交差点位置の変更) (共庫化+交差点位置の変更) (共庫化・交差点位置の変更) (共庫化・クラー線 (登備中) (登備中) (登備中) (登備中) (登備中) (登備中) (登備中) (登備中) (登備中) (登橋中) (登春中) (登春 |  |  |
| 課題への対    | 臨港道路と<br>幹線道路接<br>続部周辺に<br>おける慢性<br>的な渋滞の<br>発生 | 0   | <ul><li>・臨港道路福井1号線と4号線により臨港道路の機能分担が図られ、渋滞が解消。</li><li>・国道9号等の一般道への交通量負荷の軽減に寄与。</li></ul> | Δ  | ・増加する貨物に対応する臨港道路<br>の交通容量は確保出来るが、国道9<br>号等の一般道への交通量負荷が増<br>大。                          |  |
| 対応       | 大規模震災<br>時の輸送路<br>の確保                           | 0   | ・大規模地震発生時にも福井地区への十分なアクセス機能を確保することが可能。  | Δ  | ・耐震改良により大規模地震発生時に<br>も福井地区へのアクセス機能を確保<br>することは可能。                                      |  |
|          | 地域経済への影響  |   | ・輸送コスト削減を通じ、背後圏企業<br>の競争力強化に寄与。<br>・雇用増、産業の活性化に貢献。                                       | Δ  | ・輸送コスト削減を通じ、背後圏企業<br>の競争力強化に寄与するが、輸送時<br>間が案1より長いことから効果は案1<br>より減少。<br>・雇用増、産業の活性化に貢献。 |  |
| 環境への影響   |   | Δ   | ・渋滞の解消により、周辺地区への騒音・振動等の負荷を軽減。<br>・一部の区間において、山林を掘削等する必要あり。                                | ×  | ・渋滞が拡大する懸念があり、周辺地区への負荷が拡大する恐れあり。<br>・宅地に近接する位置での施工が必要。                                 |  |
| 実現性      |   | 0   | ・地元企業等との調整は必要なし。   | Δ  | ・既設臨港道路(福井1号線)拡幅工事<br>期間中は、交通規制が必要となるた<br>め、利用企業等との調整が必要。                              |  |
| コスト 33億円 |   | 43億円  |  |  |  |  |
| 総合評価     |   | ×   |  |  |  |  |

|       | 評価項目 案1 臨港道路福井4号線整備【再掲】                         |  | 案3 国道9号福井地区西側で接続する<br>臨港道路の整備   |                                      |  |
|-------|---|--|---|--------------------------------------|--|
| 概要    |   | (浜田・三隅道路に直結する臨港道路新設)    国際物流ターミナル (供用中) (供用中) (機用中) (機用中) (機用中) (整道路 福井1号線 (登備中) (登備中) (登備中) (登備中) |   | (臨港道路を新設する場合の代替案)    国際物流ターミナル (供用中) |  |
| 課題への対 | 臨港道路と<br>幹線道路接<br>続部周辺に<br>おける慢性<br>的な渋滞の<br>発生 | 0  | <ul> <li>・臨港道路福井1号線と4号線により臨港道路の機能分担が図られ、渋滞が解消。</li> <li>・国道9号等の一般道への交通量負荷の軽減に寄与。</li> </ul> | Δ                                    | <ul> <li>・臨港道路福井1号線と4号線により臨港道路の機能分担が図られ、渋滞が解消。</li> <li>・国道9号等の一般道への交通量負荷の軽減に寄与するが、案1より国道9号に流出入する交通量が多くなるため効果が劣る。</li> </ul> |
| 応     | 大規模震災<br>時の輸送路<br>の確保                           | 0  | ・大規模地震発生時にも福井地区への十分なアクセス機能を確保することが可能。   | 0                                    | ・大規模地震発生時にも福井地区への十分なアクセス機能を確保することが可能。  |
| 地均影響  | ▼<br>経済への                                       | 0  | ・輸送コスト削減を通じ、背後圏企業<br>の競争力強化に寄与。<br>・雇用増、産業の活性化に貢献。  | Δ                                    | ・輸送コスト削減を通じ、背後圏企業<br>の競争力強化に寄与するが、案1よ<br>り国道9号に流出入する交通量が多<br>くなるため効果は劣る。<br>・雇用増、産業の活性化に貢献。                                  |
| 環     | 環境への影響  |  | <ul><li>・渋滞の解消により、周辺地区への騒音・振動等の負荷を軽減。</li><li>・一部の区間において、山林を掘削等する必要あり。</li></ul>            | ×                                    | <ul><li>・渋滞は解消されるが、案1より国道9号に流出入する交通量が多くなるため効果は劣る。</li><li>・一部の区間において、山林を掘削等する必要あり。</li></ul>                                 |
|       | 実現性   |  | ・地元企業等との調整は必要なし。  | 0                                    | ・地元企業等との調整は必要なし。   |
| コスト   |   |  | 33億円  | 44億円                                 |  |
| 総合評価  |   | 0  |   | ×                                    |  |

# 【対応方針(案)】 案1による対策が妥当

# 5. 浜田港福井地区臨港道路整備事業の位置づけ

浜田港福井地区については、浜田港港湾計画(平成9年3月改訂)において、「外貿物流機能の充実を図る」、「港湾と背後地域との連絡を強化し、臨港交通体系の充実を図る」等の基本方針のもと、「環日本海交流による対岸貿易も含めた流通拠点」として位置付けられており、本事業は、港湾と背後圏域とのネットワーク機能を強化するものである。



# 6. 費用対効果分析

## (1)事業の効果

本事業の実施により、所要の臨港道路の交通容量が確保され、高速道路とのアクセスが強化されることにより、浜田港利用企業の物流コストが削減される。あわせて、周辺地域の渋滞緩和にも寄与すること等を通じ、地域産業の競争力強化と地域経済の発展に寄与する。

よって、本事業の実施により得られる効果として、以下の項目を計上する。

## 《貨幣換算した便益》

| 区分       | 内容                                     |
|----------|--|
| 走行時間短縮便益 | 周辺道路も含めた走行時間短縮によるコストの削減                |
| 走行経費減少便益 | 混雑の緩和、走行距離など走行条件が改善されることによる走行費用<br>の減少 |
| 交通事故減少便益 | 交通事故の減少による損失の回避                        |

## 《貨幣換算が困難な効果》

# 【①企業の設備投資による港湾利用の拡大と地域産業の発展】

背後圏立地企業の競争力強化により、投資、生産活動が活性化し、雇用の確保と国税収入の増加に貢献する。浜田港背後圏の企業は、同港の機能強化(臨港道路整備)を前提に約110億円の新規設備投資を計画、実施中であり、これにより新規雇用約200人や、新たな国税収入約8億円/年の増加(試算値)が期待される。

# 【②地域の安全・安心確保と産業活動の維持】

大規模地震発生の際にも福井地区への十分なアクセス機能を確保することにより、地域住民の安全安心の向上に寄与する。また、震災時においても物流が維持されることで、港湾背後企業の物流コストの削減を図り、産業活動の維持に寄与する。

# 《参考》

震災時の輸送コストの削減効果 0.03 億円/年(地震発生確率考慮)

# 【③地域環境の改善】

港湾関連車輌の交通機能分担を図ることにより、周辺の一般道路の渋滞が軽減され、NOx等の排出ガスが削減される。また、騒音、振動が軽減される。

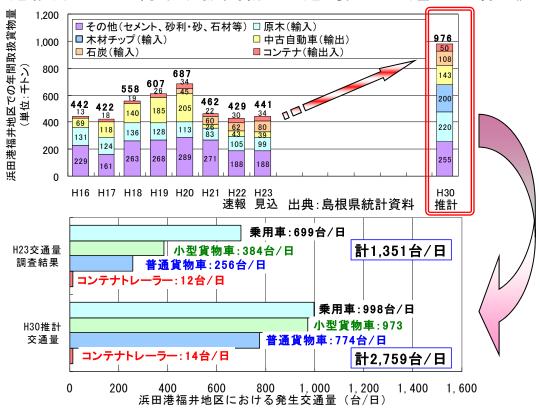
# (2)費用便益分析における貨物量等の設定

- ・浜田港では利用企業の設備投資等による生産活動の活発化や、他港からの利用転換等により、平成22年に比べ、約50万トンの取扱貨物の増加が見込まれる。
- ・各貨物の取扱企業へのヒアリングにおける生産計画や輸出入の見通しなど から、増加の見通し。
- そのため、ヒアリング等で得られた値を積み上げて、将来値として設定。

## ■ 貨物量設定の考え方

|             | ××   |
|-------------|--|
| コンテナ        | 企業ヒアによると、対岸諸国の需要増大を見据えた増産や、利用港湾のシフトにより、H30には現在より約2万トン増加。他方、過去10年間のトレンドに基づく推計では約5.3万トンの増加。以上より、小位推計値(企業ヒアに基づくミクロ推計)を採用。   |
| 石 炭<br>(輸入) | 企業ヒアによると、ボイラー燃料として、重油からの転換含め、比較的安価な石炭利用の増加により、H30には約5万トン増加。背後圏企業は、日本で唯一溶解パルプを製造している等、対岸諸国への輸出を含め、中長期的にも安定した製造品の産出と燃料需要が見込まれることから、企業ヒアに基づくミクロ推計値を採用。  |
| 中古自動車(輸出)   | 企業ヒアによると、過去最高までには回復しないが、少なくとも12万トン(現在より約8万トンの増加)までは回復。輸出相手国であるロシアのGDPと浜田港中古車輸出量の相関、及び輸出実績トレンド推計では、H30の推計値が約14万トン〜約18万トン。企業ヒアに基づくミクロ推計値は"少なくとも"の留保付きの値であり、ロシアのWTO加盟(H23.12正式承認)を踏まえ、輸入関税率が低下する見込みであることに鑑み、マクロ推計値の下限値である約14万トン(現在より約10万トン増加)を採用。 |
| 木材チップ(輸入)   | 企業ヒアによると、浜田港にチップヤードがないことから、他港からの横持ち陸送、もしくは内航船輸送が強いられており、高コスト構造。H29年度には同ヤードの確保のための埠頭再編が完了することから、H30には他港からのシフトするものとして、約20万トン増加。  |
| 原木(輸入)      | 背後圏企業は、木造住宅の施工性と耐震性に優れる構造用合板を製造。企業ヒアによると、増産投資を進めており、<br>将来的には北米やニュージーランドからの輸入に特化し、福井地区での輸入量は現在の11万トンから22万トンに約11<br>万トン増加する見込み。新築住宅への使用はもちろん、リフォーム需要もあいまって、構造用合板は着実な需要が存<br>在。以上より、企業ヒアに基づくミクロ推計値を採用。   |
| その他         | 山陰自動車道の整備等、一定量の建設資材需要が見込まれることから、過去5年の平均値を採用。   |

## 《浜田港福井地区の将来取扱貨物量と港湾発生交通量の増加》



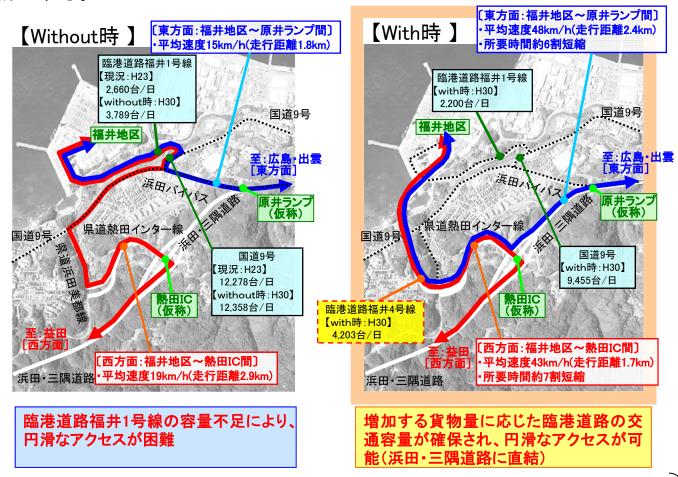
#### 【将来交通量(H30推計)の考え方】

・「港湾の施設の技術上の基準・同解説(H19.7)」に基づき、将来推計貨物量から推計。

## (3)便益計算

# 1) 走行費用の削減

臨港道路整備により、浜田港取扱貨物の効率的な陸上輸送が可能となることなどから、走行時間短縮、走行距離短縮等による費用削減分を便益として計上する。



Without 時: 既設臨港道路の交通容量不足により、渋滞が発生。一般道路

への負荷も拡大。

With 時: 臨港道路の交通機能の分担が図られ、渋滞が解消。

# 年間3.2億円の走行費用の削減

# 《便益内訳(H30)》

| 項目             | 金額    |
|----------------|-------|
| 走行時間短縮便益(億円/年) | 3. 18 |
| 走行経費減少便益(億円/年) | 0. 05 |
| 走行費用の削減(億円/年)  | 3. 23 |

## 《走行時間短縮便益(代表年H30)》

〇便益 =  $\mathbb{Z}$  =  $\mathbb{Z}$  (車種別区間別年間交通量×移動区間旅行時間×車種別時間価値原単位) -  $\mathbb{Z}$  -  $\mathbb{Z}$  =  $\mathbb{Z}$ 

### 【乗用車】

| 項目           |         | With時       | Without時    |
|--------------|---------|-------------|-------------|
| 交通量【参考值】※    | (台/日)   | 2,146       | 0           |
| 平均走行速度【参考值】※ | (km/時)  | 45          | 0           |
| 総走行台時間       | (台•分/日) | 573,443     | 582,287     |
| 時間価値原単位      | (円/分•台) | 39.00~44.00 | 39.00~44.00 |
| 走行時間費用       | (千円/年)  | 9,190,221   | 9,330,638   |
| 走行時間短縮便益     | (千円/年)  | 140,        | 417         |

## 【小型貨物】

| 項目           |         | With時     | Without時  |
|--------------|---------|-----------|-----------|
| 交通量【参考值】※    | (台/日)   | 1,047     | 0         |
| 平均走行速度【参考值】※ | (km/時)  | 45        | 0         |
| 総走行台時間       | (台•分/日) | 191,234   | 196,500   |
| 時間価値原単位      | (円/分•台) | 47.00     | 47.00     |
| 走行時間費用       | (千円/年)  | 3,280,619 | 3,370,958 |
| 走行時間短縮便益     | (千円/年)  | 90,3      | 339       |

## 【普通貨物】

| 項目           |         | With時       | Without時             |
|--------------|---------|-------------|----------------------|
| 交通量【参考值】※    | (台/日)   | 1,010       | 0                    |
| 平均走行速度【参考值】※ | (km/時)  | 45          | 0                    |
| 総走行台時間       | (台·分/日) | 199,034     | 202,862              |
| 時間価値原単位      | (円/分•台) | 62.00~77.00 | 62.00 <b>~</b> 77.00 |
| 走行時間費用       | (千円/年)  | 4,505,070   | 4,592,125            |
| 走行時間短縮便益     | (千円/年)  | 87,0        | )55                  |

## 【車種計】

| 項目           |               | With時       | Without時    |  |
|--------------|---------------|-------------|-------------|--|
| 交通量【参考值】※    | (台/日)         | 4,203       | 0           |  |
| 平均走行速度【参考值】※ | (km/時)        | 45          | 0           |  |
| 総走行台時間       | (台•分/日)       | 963,711     | 981,649     |  |
| 時間価値原単位      | (円/分•台)       | 39.00~77.00 | 39.00~77.00 |  |
| 走行時間費用       | (千円/年)        | 16,975,910  | 17,293,721  |  |
| 走行時間短縮便益     | :問短絞伸光 (千円/年) |             | 811         |  |
| <u> </u>     | (億円/年)        | 3.18        |             |  |

<sup>※</sup> 交通量、平均走行速度については、『臨港道路福井4号線』の断面交通量、平均速度 を代表値として記載。

#### 【算定根拠】

#### 〇交通量

•「平成42年将来交通量配分計算結果」に「山陰ブロック車種別走行台キロ伸び率」を乗じて算出

#### 〇走行費用原単位、時間価値原単位

・「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル(H23.6)」及び「港湾投資の評価に関する解説書2011 (H23.7)」により設定。

## 《走行経費減少便益(代表年H30)》

〇便益 =  $[Without \ eta] \Sigma$  (車種別区間別年間交通量×移動区間距離×車種別走行経費原単位) -  $[With \ eta] \Sigma$  (車種別区間別年間交通量×移動区間距離×車種別走行経費原単位)

#### 【乗用車】

| 項目           |           | With時      | Without時   |
|--------------|-----------|------------|------------|
| 交通量【参考值】※    | (台/日)     | 2,146      | 0          |
| 平均走行速度【参考值】※ | (km/時)    | 45         | 0          |
| 総走行台キロ       | (千台·km/日) | 317        | 313        |
| 走行経費原単位      | (円/台•km)  | 9.00~45.00 | 9.00~45.00 |
| 走行経費         | (千円/年)    | 1,914,622  | 1,916,356  |
| 走行経費減少便益     | (千円/年)    | 1,7        | 34         |

### 【小型貨物】

| 項目           |           | With時       | Without時    |
|--------------|-----------|-------------|-------------|
| 交通量【参考值】※    | (台/日)     | 1,047       | 0           |
| 平均走行速度【参考值】※ | (km/時)    | 45          | 0           |
| 総走行台キロ       | (千台·km/日) | 113         | 112         |
| 走行経費原単位      | (円/台·km)  | 13.00~33.00 | 13.00~33.00 |
| 走行経費         | (千円/年)    | 726,610     | 726,630     |
| 走行経費減少便益     | (千円/年)    | 2           | 0           |

## 【普通貨物】

| 項目           |           | With時      | Without時   |
|--------------|-----------|------------|------------|
| 交通量【参考值】※    | (台/日)     | 1,010      | 0          |
| 平均走行速度【参考值】※ | (km/時)    | 45         | 0          |
| 総走行台キロ       | (千台·km/日) | 172        | 171        |
| 走行経費原単位      | (円/台•km)  | 9.00~45.00 | 9.00~45.00 |
| 走行経費         | (千円/年)    | 1,862,400  | 1,865,435  |
| 走行経費減少便益     | (千円/年)    | 3,0        | 35         |

#### 【車種計】

| 項目           |           | With時      | Without時   |
|--------------|-----------|------------|------------|
| 交通量【参考值】※    | (台/日)     | 4,203      | 0          |
| 平均走行速度【参考值】※ | (km/時)    | 45         | 0          |
| 総走行台キロ       | (千台·km/日) | 602        | 596        |
| 走行経費原単位      | (円/台•km)  | 9.00~45.00 | 9.00~45.00 |
| 走行経費         | (千円/年)    | 4,503,632  | 4,508,421  |
| 走行経費減少便益     | (千円/年)    | 4,7        | 89         |
| 上 1   柱負減少使量 | (億円/年)    | 0.         | 05         |

<sup>※</sup> 交通量、平均走行速度については、『臨港道路福井4号線』の断面交通量、平均速度 を代表値として記載。

#### 【算定根拠】

#### 〇交通量

・「平成42年将来交通量配分計算結果」に「山陰ブロック車種別走行台キロ伸び率」を乗じて算出

#### 〇走行費用原単位、時間価値原単位

・「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル(H23.6)」及び「港湾投資の評価に関する解説書2011 (H23.7)」により設定。

## 2)交通事故の損失回避

臨港道路整備により、増加する港湾関連交通が分散され、交通事故率が減少し、人的損害、物的損害、事故渋滞などの損失が軽減・回避されることから、 交通事故損失の回避を便益として計上する。



国道9号 臨港道路福井1号線 平方面 出来 原井ランプ (仮称) 原井ランプ (仮称) 深田・三隅道路

臨港道路福井1号線への港湾関連車両の 集中により、交通事故等が拡大

臨港道路の交通機能の分担により、交通 事故等が減少

Without 時:福井地区へのアクセスが国道9号経由しかなく、港湾関連交通

が既設臨港道路へ集中。

With 時 : 臨港道路の交通機能の分担が図られ、円滑な交通環境を確保。

# 年間0.2億円の事故損失の削減

# 《便益内訳(H30)》

| 項目              | 金額    |
|-----------------|-------|
| 交通事故減少便益(億円/年)  | 0. 23 |
| 交通事故の損失回避(億円/年) | 0. 23 |

## 《交通事故減少便益(代表年H30)》

- ※便益 =  $\{Without \mapsto\} \Sigma (区間別日交通量 \times 移動区間距離 \times 道路区分別交通事故損失係数① + 区間 別日交通量 <math>\times$  主要交差点数  $\times$  道路区分別交通事故損失係数②)
  - -【With時】Σ(区間別日交通量×移動区間距離×道路区分別交通事故損失係数①+区間別日交通量×主要交差点数×道路区分別交通事故損失係数②)

#### 【乗用車】

| 項         |           | With時     | Without時  |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 係数①       |           | 350~2,110 | 350~2,110 |
| 係数②       |           | 0~650     | 0~650     |
| 交通量【参考值】※ | (台/日)     | 2,146     | 0         |
| 総走行台キロ    | (千台·km/日) | 317       | 313       |
| 総交差点数     | (千台・箇所/日) | 594       | 613       |
| 交通事故損失額   | (千円/年)    | 634,283   | 645,003   |
| 交通事故減少便益  | (千円/年)    | 10,       | 720       |

#### 【小型貨物】

| 項目         |           | With時     | Without時  |
|------------|-----------|-----------|-----------|
| <b>係数①</b> |           | 350~2,110 | 350~2,110 |
| 係数②        |           | 0~650     | 0~650     |
| 交通量【参考值】※  | (台/日)     | 1,047     | 0         |
| 総走行台キロ     | (千台·km/日) | 113       | 112       |
| 総交差点数      | (千台•箇所/日) | 193       | 203       |
| 交通事故損失額    | (千円/年)    | 209,937   | 216,613   |
| 交通事故減少便益   | (千円/年)    | 6,6       | 76        |

#### 【普通貨物】

| 項目        |           | With時              | Without時           |
|-----------|-----------|--------------------|--------------------|
| [係数①      |           | 350 <b>~</b> 2,110 | 350 <b>~</b> 2,110 |
| 係数②       |           | 0~650              | 0~650              |
| 交通量【参考值】※ | (台/日)     | 1,010              | 0                  |
| 総走行台キロ    | (千台·km/日) | 172                | 171                |
| 総交差点数     | (千台・箇所/日) | 115                | 124                |
| 交通事故損失額   | (千円/年)    | 135,985            | 142,055            |
| 交通事故減少便益  | (千円/年)    | 6,0                | 70                 |

#### 【車種計】

| 項目        |           | With時     | Without時  |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 係数①       |           | 350~2,110 | 350~2,110 |
| 係数②       |           | 0~650     | 0~650     |
| 交通量【参考值】※ | (台/日)     | 4,203     | 0         |
| 総走行台キロ    | (千台·km/日) | 602       | 596       |
| 総交差点数     | (千台•箇所/日) | 901       | 940       |
| 交通事故損失額   | (千円/年)    | 980,205   | 1,003,671 |
| 交通事故減少便益  | (千円/年)    | 23,4      | 167       |
| 又进事以减少设金  | (億円/年)    | 0.:       | 23        |

※ 交通量については、『臨港道路福井4号線』の断面交通量を代表値として記載。

#### 【算定根拠】

### 〇算定式

・交通事故の損失回避算定式は「費用便益分析マニュアル(H20.11)」に基づく。

#### 〇交诵量

・「平成42年将来交通量配分計算結果」に「山陰ブロック車種別走行台キロ伸び率」を乗じて算出。 に路線毎に交通量を算定し、ブロック別・走行台キロ伸び率を考慮した台数。

#### 〇主要交差点筒所

・臨港道路福井1号線、4号線ともに主要幹線道路区間で交差点数を計上しており、臨港道路での交差 点箇所計上はしていない。

14

# (4)費用計算

# 1)事業費

臨港道路の事業費は、初期投資費用として事業開始年度より6年間 計上する(6年間合計で37.1億円(税抜)を計上)。

事業費の内訳については以下のとおり。

| 項目                        | 数量           | 金額(億円) |
|---------------------------|--------------|--------|
| 臨港道路 (延長:1.5km 2車線×3.25m) |              | 39. 0  |
| 土工部                       |              | 6. 4   |
| 切土工 (取壊工、法面整形工含む)         | 89千m³        | 2. 3   |
| 盛土工(法面整形工含む)              | 78千m³        | 0. 6   |
| 法面工                       | 10千m²        | 0. 5   |
| 擁壁工                       | 3千m²         | 1. 6   |
| 排水工                       | 3 <b>∓</b> m | 0. 4   |
| 舗装工(防護柵工含む)               | 8千m²         | 1. 1   |
| 橋梁部                       |              | 25. 0  |
| 橋梁上部製作・架設工                | 426m         | 14. 4  |
| 橋台・橋脚工                    | 14基          | 10. 7  |
| 標識等付帯施設                   | 1式           | 2. 1   |
| 測試調査費等                    | 1式           | 3. 5   |
| 用地補償費                     | 1式           | 1.8    |
| 合計(税込)                    |              | 39. 0  |
| 合計(税抜)                    |              | 37. 1  |

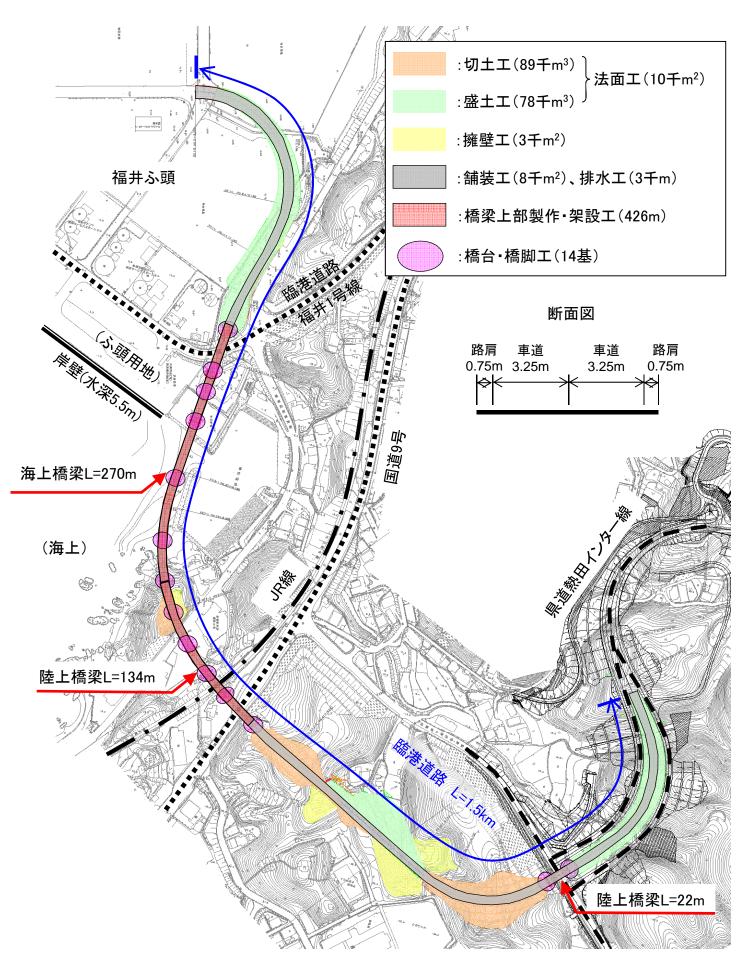
# 2)管理運営費

管理運営費は毎年0.05億円(税抜)を計上する。

### 【算定根拠】

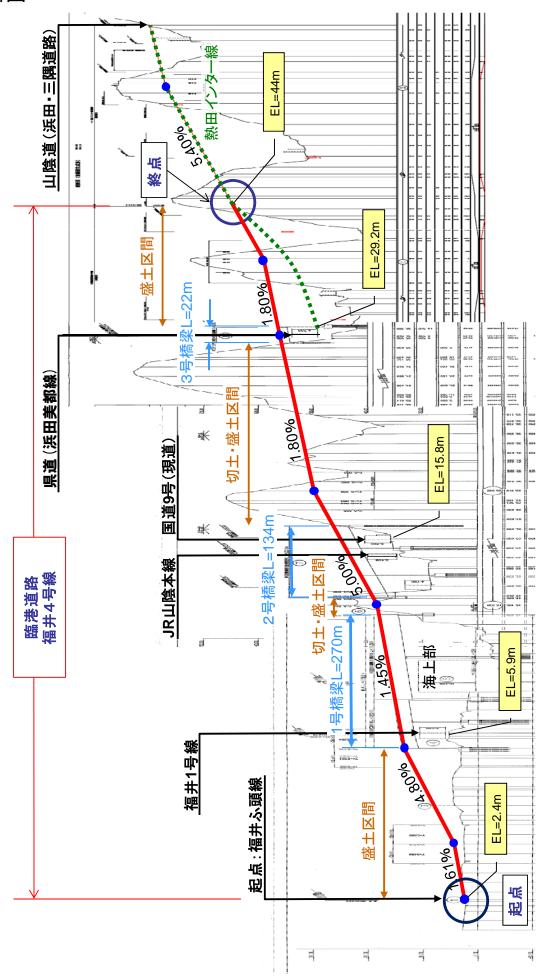
・同規模施設の実績値により算出。

## 3)平面図・断面図



※今後の検討により構造形式の変更の可能性がある。

# 4)縦断図



※今後の検討により構造形式の変更の可能性がある。

# (5)費用便益分析

事業着手時点から施設供用後50年間までの費用及び便益について、 それぞれ社会的割引率4%を用いて現在価値に換算し、これらをも とに費用便益比(CBR)等を算出した。

| B:便益(現在価値化後)                          | 55.5 (億円)   |
|---------------------------------------|-------------|
| 走行時間短縮                                | 50.9 (億円)   |
| 走行経費削減                                | 0.8(億円)     |
| 交通事故減少                                | 3.6 (億円)    |
| 残存価値                                  | 0.1 (億円)    |
| C:費用(現在価値化後)                          | 32.9 (億円)   |
|                                       |             |
| 費用便益分析結果                              |             |
| 費用便益比(CBR) B/C                        | 1. 7        |
| 純現在価値(NPV) B-C                        | 22.6 (億円)   |
| 経済的内部収益率(EIRR)                        | 7.3 (%)     |
| 感度分析結果                                |             |
| 需 要 (-10%~+10%)                       | 1.5~1.9     |
| 建 設 費 (+10%~-10%)<br>建設期間 (+10%~-10%) |             |
| (1070° 1070)                          | 1. / - 1. / |

# 7. 港湾管理者からの意見

別紙のとおり。

浜田港 福井地区 臨港道路整備事業

新規事業採択時評価 【費用便益分析詳細資料】

約便益 (B-C) 終便苗 (B) 0.1 残存価値 交通事故減少便益 走行経費 減少便益 NPV= 走行時間 短縮便益 2.4 3.6 8.0 8.1 6.5 3.4 総費用 (C) 管理 運営費 EIRR= B/C= 2.4 3.6 8.0 8.1 6.5 初期投資· 更新投資 費用便益分析シート(割引後) 1.000 0.962 0.925 0.889 0.855 0.790 施設供用 期間 2.5 3.9 9.0 8.0 8.0 4.4 純便益 (B-C) 総便益 (B) 0.7 残存価値 交通事故減少便益 走行経費 減少便益 走行時間 短縮便益 2.5 3.9 9.0 9.5 9.5 8.0 総費用 (C) (無理) 管理 運営費 浜田港福井地区臨港道路整備事業 **費用便益分析シート(割引前**) 2.5 3.9 9.0 9.5 8.0 4.4 施設供用-期間 年度

| (需要+10%) |                |
|----------|----------------|
| 5配法      | 単田価林な丼シート(世川県) |

| 整機用         地機線         電腦         機機           |
|---|
| Figure   Parish      |
| 1   |
| 1   |
| 1   |
| 1   |
| 1   1   1   1   1   1   1   1   1   1   |
| 施設供用 初埠技術 (2) 短縮便基 減少便益 減少便益 (BC) (BC) (BC) (BC) (BC) (BC) (BC) (BC)  |
| 施設供用 初期投資・管理 総費用 法行時間 法行務 交通事故 孫存価値 (B-C) |
| 施設供用 初均投資・ 管理 総費用 法行時間 走行経費 交通事故 残存価値 (B) (B-C) |
| 施設供用 初類投資・管理 総費用 法行時間 走行整整 交通事故 残存価値 総價益 総優益 報便登期間 連新投資 通常費 (C) 短総優益 減少優益 減少優益 減少優益 減少優益 減少優益 減少優益 3.9 (B.C. 18.0) 8.0 8.0 8.0 8.0 8.0 8.0 8.0 8.0 8.0 8.0  |
| 施設供用 初期投資・ 管理 総費用 走行時間 走行経費 交通事故 強行価値 (B) 2.5 2.5 3.9 9.6 4.4 4.4 0.1 0.1 3.5 0.1 0.3 3.8 3.8 0.1 0.3 3.8 3.8 0.1 0.1 3.5 0.1 0.3 3.8 3.8 0.1 0.1 3.5 0.1 0.3 3.8 3.8 0.1 0.1 3.5 0.1 0.3 3.8 3.8 0.1 0.1 3.5 0.1 0.3 3.8 3.8 0.1 0.3 3.8 0.1 0.3 3.8 3.8 0.1 0.3 3.8 |
| 施設供用 初期投資・管理 総費用 法行時間 法行務 交通事故 殊存価値 (b) 短額便益 減少便益 減少便益 減少便益 減少便益 減少便益 減少便益 減少便益 減少  |
| 施設供用 (7) / / / / / / / / / / / / / / / / / / /  |
| 施設供用 初期技濟・管理 総費用 左行時間 左行時間 直升経費 交通車   |
| 施設供用 初期投資 管理 総費用 法行時間 法行務   |
| 施設供用 初期投資: 管理 総要用 法行時間 短射投資 運営費 (C) 短縮便掛 2.5 2.5 3.9 9.0 9.0 9.5 8.0 8.0 8.0 8.0 8.0 8.0 8.0 8.0 8.0 8.0  |
| 施設供用 初場投資・管理 総費用  |
| 施設供用 初期投資。 管理<br>期間 更新投資。 運輸費<br>2.5<br>3.9<br>9.6<br>8.0<br>4.4<br>0.1<br>2<br>3 0.1<br>5 0.1<br>5 0.1   |
| 施設供用 初期投資。<br>期間 阿斯皮資<br>2.5<br>3.9<br>9.0<br>9.0<br>8.0<br>4.4<br>4.4<br>4.4<br>5.3<br>5.3<br>5.3<br>6.0<br>6.0<br>6.0<br>6.0<br>6.0<br>6.0<br>6.0<br>6.0<br>6.0<br>6.0  |
| 調整<br>調整<br>日<br>日<br>日<br>日<br>日<br>日<br>日<br>日<br>日<br>日<br>日<br>日<br>日<br>日<br>日<br>日<br>日   |
| 施設<br>地位<br>地位<br>地位<br>地位<br>地位<br>地位<br>地位<br>地位<br>地位<br>地位  |
| # # # # # # # # # # # # # # # # # # #   |

(需要-10%) 浜田港福井地区臨港道路整備事業 **費用便益分析シート(割引前**) 17.0 億円

NPV=

費用便益分析シート(割引後)

純便益 (B-C) 総便益 (B) 0.1 残存価値 交通事故 減少便苗 5:1 5:1 5:1 5:1 5:1 5:1 5:1 7:1 1:1  $\begin{array}{c} 1.1 \\ 1.0 \\$ 走行時間 短縮便益 0.0 6.6% 管理 運営費 2.4 3.6 8.0 8.1 6.5 EIRR= B/C= 初期投資. 更新投資 社会的割引奉 施設供用 期間 純便益 (B-C) 総便益 (B) 0.7 残存価値 交通事故 減少便益 走行経費 減少便益 ジ 走行時間 短縮便益 2.5 3.9 9.0 9.5 8.0 4.4 総費用 (C) 管理 運営費 初期投資· 更新投資 2.5 3.9 9.0 9.5 8.0 4.4 施設供用 期間 年度

| (建設費+10%)       |                |
|-----------------|----------------|
| 浜田港福井地区臨港道路整備事業 | 費用便益分析ツート(割引前) |

費用便益分析シート(割引後)

浜田港福井地区臨港道路整備事業 (建設費-10%) **費用便益分析シード割引前**)

費用便益分析シート(割引後)

純便益 (B-C) 総便益 (B) 0.1 0.1 残存価値 交通事故減少便益 25.8 億円 走行経費減少便益  $\begin{array}{c} 1.13 \\ 1.12 \\ 1.11 \\ 1.$ NPV= 走行時間 短縮便益  $\frac{1}{1}$   $\frac{1}$ 8.1% 管理 運営費 EIRR= B/C= 2.1 3.2 7.2 7.3 7.3 5.9 3.1 初期投資· 更新投資 0.422 0.406 0.339 0.331 0.331 0.331 0.235 0.238 0.239 0.253 0.253 0.254 0.253 0.254 0.253 0.254 0.253 0.254 0.253 0.254 社 割引 署 施設供用 期間 **4**□ 純便益 (B-C) 終便苗 (B) 0.7 残存価値 交通事故減少便益 走行経費 減少便益 走行時間 短縮便益  $\begin{smallmatrix} 3 & 3 & 1 & 1 \\ 3 & 3 & 1 & 1 \\ 3 & 3 & 1 & 1 \\ 3 & 3 & 2 & 1 \\ 3 & 3 & 3 & 2 \\ 3 & 3 & 3 & 2 \\ 3 & 3 & 3 & 2 \\ 3 & 3 & 3 & 2 \\ 3 & 3 & 3 & 2 \\ 3 & 3 & 3 & 2 \\ 3 & 3 & 3 & 2 \\ 3 & 3 & 3 & 2 \\ 3 & 3 & 3 & 2 \\ 3 & 3 & 3 & 2 \\ 3 & 3 & 3 & 2 \\ 3 & 3 & 3 & 2 \\ 3 & 3 & 3 & 2 \\ 3 & 3 & 3 & 2 \\ 3 & 3 & 2$ 14.0 総費用 (C) 管理 運営費 2.2 3.5 8.1 8.6 7.2 3.9 初期投資· 更新投資 施設供用-期間 ŲΠ 年度

総便益 (B) 0.1 残存価値 交通事故減少便益 21.1 億円 7.1% EIRR= R/C= 初期投資· 更新投資 1.000 0.962 0.925 0.889 0.855 0.852 0.790 費用便益分析シート(割引後) 施設供用 期間 2.1 3.1 6.2 7.7 6.3 6.3 第便群 (B-C) 総便益 (B) 0.7 残存価値 走行経費 減少便益 走行時間 短縮便益 (建設期間+10%) 浜田港福井地区臨港道路整備事業 **費用便益分析シート(割引前**) 施設供用 初期投資· 期間 更新投資 2.1 3.1 6.2 7.7 6.3 6.3 2011 2012 2013 2014 2015 2015 2016 2017 2018 

|  |               |              | 純便益<br>(B-C)  | ,     | -3.1  | -9.9  | -8.7  | 4.9  | 2.7        | 2.5        | 2.4   | 2.3   | 2.2   | 2.1   | 2.0         | 1.9        | 1.8   | 1.7   | 1.7   | 1.6   | S.1   | 4.1   | 1.3   | 1.3   | 1.2   | 1.2   | Ξ:    |       | 1.0   | 0.9  | 0.9   | 0.8   | 8.0   | 0.7   | 0.7   | 0.7   | 0.0   | 9.0   | 9.0   | 0.5   | 0.5   | 0.5   | 0.4   | 0.4   | 0.4        | 0.4   | 0.3   | 0.3   | 0.3              | 5   | 24.1       |
|--|---------------|--------------|---|-------|-------|-------|-------|------|------------|------------|-------|-------|-------|-------|-------------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|-------|------------------|-----|------------|
|  |               |              | 総便益<br>(B)  |       |       |       |       |      | 2.7        | 2.5        | 2.4   | 2.3   | 2.2   | 2.1   | 2.1         | 1.9        | 1.8   | 1.8   | 1.7   | 1.6   | S.1   | C.1   | 1.3   | 1.3   | 1.2   | 1.2   | Ξ:    | 1.1   | 1.0   | 0.9  | 0.9   | 0.0   | 8. o  | 0.7   | 0.7   | 0.7   | 0.0   | 9.0   | 9.0   | 0.5   | 0.5   | 0.5   | 0.4   | 0.4   | 0.4        | 0.4   | 0.4   | 0.3   | 0.3              | ;   | 57.7       |
|  |               |              | 残存価値  |       |       |       |       |      |            |            |       |       |       |       |             |            |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |            |       |       |       | 0.1              | :   | 0.1        |
| 費用便益分析シート(割引後)                           |               |              | 交通事故<br>減少便益  |       |       |       |       | 4    | 0.2        | 7.0        | 0.2   | 0.2   | 0.1   | 0.1   | 1.0         | 0.1        | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 1. 0  | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 1.0   | 0.1   | 0.1  | 0.1   | 0.1   | 1.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0        | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0:0              | ;   | 3.8        |
|  | 24.1 億円       | 引 後          | 資金  |       |       |       |       | 4    | 0:0        | 0.0        | 0:0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0         | 0:0        | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0:0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0:0   | 0.0  | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0:0        | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0:0              | 2   | 6.0        |
|  | NPV=          | <del>(</del> | 走行時間 走<br>短縮便益 減                                      |       |       |       |       |      | 2.5        | 4.6        | 2.2   | 2.1   | 2.0   | 2.0   | y: 1<br>8:1 | 1.7        | 1.7   | 1.6   | 1.5   | 1.5   | 4     | ± "   | 1.2   | 1.2   | 1.1   | 1:1   | 0.1   | 0.0   | 6.0   | 6.0  | 8.0   | 8.0   | 0.7   | 0.7   | 0.7   | 9.0   | 0.0   | 0.5   | 0.5   | 0.5   | 0.5   | 0.4   | 0.4   | 4.0   | 9.4        | 0.3   | 0.3   | 0.3   | 0.3              | ì   | 53.0       |
|  |               |              | 総費用 走(C) 短  |       | 3.1   | 6.6   | 8.7   | 4.9  | 0.0        | 0:0        | 0:0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0:0         | 0:0        | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0  | 0.0   | 0.0   | 0:0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0:0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0        | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0              | 2   | 33.6       |
|  | 7.6%          |              |   |       |       |       |       | 0    | 0.0        | 0.0        | 0:0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0         | 0.0        | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0  | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0        | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0              | 2   | 6.0        |
|  | EIRR=<br>B/C= |              | <ul><li>資。</li><li>管理</li><li>資</li><li>運営費</li></ul> |       | 3.1   | 6.6   | 8.7   | 4.9  |            |            |       |       |       |       |             |            |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |            |       |       |       |                  |     | 32.7       |
|  | EI            |              | 初期投資·<br>更新投資   | 1.000 | 0.962 | 0.889 | 0.855 | 822  | 0.790      | 0.731      | 0.703 | 9/9/0 | 0.650 | 0.625 | 0.601       | 0.555      | 0.534 | 0.513 | 0.494 | 0.475 | 0.456 | 0.439 | 0.406 | 0.390 | 0.375 | 0.361 | 0.347 | 0.333 | 0.308 | 596  | 0.285 | 0.274 | 0.264 | 0.244 | 0.234 | 0.225 | 0.217 | 0.200 | 0.193 | 0.185 | 0.171 | 0.165 | 0.158 | 0.152 | 0.140      | 0.135 | 0.130 | 0.125 | 0.120<br>0.116   |     |            |
|  |               |              | 世<br>神<br>明<br>明<br>明<br>明<br>明<br>日<br>田             | 1.0   | 0.0   | 0.8   | 0.8   | 0.0  | 0.0        | 7 0 0      | 0.0   | 5 0.6 | 5 0.6 | 7 0.6 | 20.0        | 0.5        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |            |       |       |       | 49 0.1<br>50 0.1 |     |            |
| おかをツー                                    |               |              | 施設供用期間  |       | 2 6   | 3 4   | 5     | 9    |            | 0 0        |       | 12    |       | <br>  | t 7         |            |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |            |       |       |       |                  |     | 盂          |
| 費用便益                                     |               |              | 年度  | 2011  | 2012  | 2012  | 201   | 201  | 201        | 202        | 202   | 202   | 202   | 202   | 70.7        | 202        | 202   | 202   | 202   | 203   | 202   | 202   | 203   | 203   | 203   | 203   | 203   | 20.2  | 207   | 707  | 20%   | 50%   | 20,00 | 20%   | 20%   | 20%   | 20.2  | 205   | 205   | 2054  | 205   | 205   | 205   | 205   | 2061       | 2062  | 2063  | 2064  | 2065             |     | <b>4</b> □ |
|  |               |              | 箱便苗<br>(B-C)  | ;     | ÷ 5.2 | -1.1  | -10.2 | -5.9 | k; c       | 4. K       | ; K   | 3.4   | 3.4   | 3.4   | 4. 6        | 3.4        | 3.4   | 3.4   | 3.4   | <br>  | e. c  | o. 6. | 3.3   | 3.2   | 3.2   | 3.2   | 3.2   | 2.5   | 3.5   | 3.1  | 3.1   | 3.1   | 3.0   | 3.0   | 3.0   | 3.0   | 2.9   | 2.9   | 2.9   | 2.9   | 2.8   | 2.8   | 2.8   | 2.7   | 2.7        | 2.7   | 2.7   | 2.6   | 3.3              | ;   | 117.6      |
|  |               |              | 総便益 (B)   |       |       |       |       |      | κ.<br>ν. υ | c.e<br>4.e | ; K   | 3.4   | 3.4   | 4.6   | 4. K        | . 6.<br>4. | 3.4   | 3.4   | 3.4   | 4. 6  | 4.6   | 4 6   | 3.8   | 3.3   | 3.3   | 3.3   | 3.2   | 3.5   | 3.2   | 3.1  | 3.1   | 3.1   | 3.5   | 3.0   | 3.0   | 3.0   | 3.0   | 2.9   | 2.9   | 2.9   | 2.9   | 2.8   | 2.8   | 8 6   | 6 8<br>7 6 | 2.7   | 2.7   | 2.7   | 7.5.<br>7.4.     | :   | 157.2      |
|  |               |              | 残存価値  |       |       |       |       |      |            |            |       |       |       |       |             |            |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |            |       |       |       | 0.7              | š   | 0.7        |
|  |               |              | 交通事故 残:<br>減少便益 残:                                    |       |       |       |       | 4    | 0.2        | 7.0        | 0.2   | 0.2   | 0.2   | 0.2   | 7.0         | 0.2        | 0.2   | 0.2   | 0.2   | 0.2   | 0.7   | 7.0   | 0.2   | 0.2   | 0.2   | 0.2   | 0.2   | 7.0   | 0.2   | 0.2  | 0.2   | 0.2   | 7.0   | 0.7   | 0.2   | 0.2   | 0.7   | 0.2   | 0.2   | 0.2   | 0.2   | 0.2   | 0.2   | 0.2   | 0.2        | 0.2   | 0.2   | 0.2   | 0.2              | 4   | 10.1       |
|  |               | 3 前          | 資金  |       |       |       |       |      | 0.0        | 0.0        | 0:0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0         | 0.1        | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 1. 0  | 0.1   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0:0   | 0:0   | 0.0  | 0.0   | 0.0   | 0:0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0        | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0              | 2   | 2.4        |
|  |               | <b>a</b>     | i   |       |       |       |       |      | 3.2        | 3.2        | 3.2   | 3.2   | 3.2   | 3.2   | 3.2         | 3.1        | 3.1   | 3.1   | 3.1   | 3.1   | 3.1   |       | 3.0   | 3.0   | 3.0   | 3.0   | 3.0   | 3.0   | 2.9   | 2.9  | 2.9   | 2.9   | 8.2   | 2.8   | 2.8   | 2.8   | 2.7   | 2.7   | 2.7   | 2.7   | 2.6   | 2.6   | 2.6   | 2.6   | 2.5        | 2.5   | 2.5   | 2.5   | 2.5              | ) i | 144.0      |
| (建設期間-10%)                               |               |              | 引 走行時間<br>短縮便益  |       | 3.2   | 3 -   | 10.2  | 5.9  | 1.0        | 1.7        | 1.0   | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 1. [        | 2.1        | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 1     | 1. [  | 1.7   | 1.0   | 0.1   | 0.1   | 1.0   | 1.7   | 1.0   | 1.0  | 0.1   | 1.0   | 1. [  | 1.0   | 0.1   | 1.0   | 1.1   | 0.1   | 0.1   | 1.0   | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 1.0        | 1.0   | 0.1   | 0.1   | 0.1              |     | 39.6       |
| (建設期                                     |               |              | 総費用<br>(C)  |       |       |       | 1     |      |            |            |       |       |       |       |             |            |       |       | _     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | _     |       |            |       |       |       |                  |     |            |
| 浜田港福井地区臨港道路整備事業<br><b>費用便益分析シード割引前</b> ) |               |              | 管理<br>運営費   |       |       |       |       |      | 0.1        |            |       | 0.1   | 0.1   | 0.1   |             | 0.0        | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 0.0   |       | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 1.0   | 0.0   | 0.1  | 0.1   | 0.1   | 0     | 0.0   | 0.1   | 0.1   |       | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 0.0        | 0.1   | 0.1   | 0.1   | 0.1              | 2   | 2.5        |
|  |               |              | 初期投資·<br>更新投資   | ,     | 3.2   | 11.1  | 10.2  | 5.9  |            |            |       |       |       |       |             |            |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |            |       |       |       |                  |     | 37.1       |
| 井岩区福沙                                    |               |              | 施設供用一期間   |       |       |       |       |      | - ·        | 7 6        | . 4   | 5     | 9     | 7     | ю o         | 10         | 11    | 12    | 13    | 14    | 15    | 10    | 18    | 19    | 20    | 21    | 22    | Ç7 C  | 25    | 26   | 27    | 5 28  | 30    | 31    | 32    | 33    | 3.5   | 36    | 37    | 38    | 40    | 41    | 42    | 4 4   | 4 4        | 46    | 47    | 8 4   | 50               |     | ±          |
| 浜田港福尹<br>費用便益名                           |               |              | 年度  | 2011  | 2012  | 2013  | 2015  | 2016 | 2017       | 2018       | 2020  | 2021  | 2022  | 2023  | 2024        | 2026       | 2027  | 2028  | 2029  | 2030  | 2031  | 2032  | 2034  | 2035  | 2036  | 2037  | 2038  | 2039  | 2040  | 2042 | 2043  | 2044  | 2045  | 2047  | 2043  | 2049  | 2050  | 2052  | 2053  | 2054  | 2055  | 2057  | 2058  | 2059  | 2061       | 2062  | 2063  | 2064  | 2065             | 1   | 和          |

合計 (億円) 便益合計 P=I+N+O ③交通事故減 少便益(億円) 全車 0.224 0.222 0.220 0.219 0.217 0.215 0.208 0.206 0.202 0.202 0.210 0.21 0.0048 0.0048 0.0050 0.0050 0.0050 0.0050 0.0050 0.0050 0.0040 0. (N) 0.005 トレーラー ②走行経費減少便益(億円) 0.030 0.030 0.030 0.030 0.030 0.030 0.030 0.030 0.030 0.030 0.030 0.02 0.030 0.03 普通貨物 小型貨物 0.0012 0.0012 0.0011 0.0011 0.0011 0.0011 0.0113  $\begin{array}{c} 000101\\$ 0.012 乗用車 2.915 2.896 2.878 2.859 2.971 2.673 N=J+K+L+M 盂  $\odot$ 0.025 0.025 0.025 0.025 0.025 0.025 0.025 0.025 0.025 0.025 0.025 0.025 ①走行時間短縮便益(億円) **箇所名:浜田港福井地区臨港道路整備事業** 普通貨物 0.756 0.751 0.751 0.728 0.723 0.717 0.717 0.706 0.701 0.690 0.684 0.778 0.668 0.657 0.651 0.651 0.646 0.773 小型貨物 1.362 1.356 1.351 1.345 1.340 1.308 1.294 1.281 1.267 1.254 1.240 1.173 1.160 1.130 1.100 1.0000 1.0 1.214 0.891 乗用車 99196 99189 99182 99176 99169 99155 . 99125 . 99118 . 99110 99068 99059 99051 99013 99102 90266 0.99702 99085 99003 98962 98917 0.99148 0.99140 0.99133 99701 0.98983 0.98973 (山陰プロック) 小型貨物 | 普通貨物 1. 00037 1. 00037 1. 00037 総走行台和の年次別伸び率 0. 99132 0. 99125 0. 99117 0. 99175 0. 99168 0. 99214 0. 99208 0.99182 0.99140 0.99277 0.99195 0. 9932 0. 9932 0. 9931 0. 9931 0.9929 0.9927 0.9920; **乗用車類** 便益の現在価値算定表 98983 98973 98962 98951 0.98446 99602 . 98755 . 98740 . 98724 0. 98598 0. 98578 98868 98673 0.98618 0.98917 0.98905 98842 98493 0.99601 0.9888 0.988550 54 55 56 年度 (基準年) 24年目 25年目 28年目 29年目 30年目 31年目 32年目 34年目 35年目 36年目 37年目 38年目 39年目 40年目 41年目 42年目 43年目 44年目 45年目 46年目 47年目 48年目 49年目 1年目 2年目 3年目 22年目 4年目

27